

は73・9%、全国平均は72・8%となっています。

令和3年2月1日以来、空席となっておりました保護司は、令和5年12月1日付で金子晴美様に法務大臣から辞令伝達が執り行われました。今後、保護司として犯罪や非行をした人の立ち直りを助ける活動や社会を明るくする運動などの犯罪予防活動に従事します。

健康福祉課

11月3日、「ひろの秋まつり」の一環として、広野町中央体育館において、「健康まつり」を開催しました。広野町食生活改善推進協議会による減塩の啓発やふくしま心のケアセンターによるアルコールに関する啓発、血圧測定や体組成測定結果などを使用し、生活習慣改善に関する健康相談を実施しました。放射線相談会においては放射線に関する資料の展示を行い、正しい知識の普及に努めました。

また、「血圧のおはなし」を演題とした「馬場医院院長

小鹿山博之様」による健康講演会を開催し、約70名の参加者のもと、町の健康課題に合わせた講話を来場者は熱心に聞いていました。



健康まつり「健康講演会」

11月18日、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種を広野町保健センターにおいて集団接種により約350人に行いました。馬場医院での個別接種を引き続き実施し、令和6年3月まで接種を完了する計画で取り組みます。

こども家庭課

10月1日、昨年に引き続き、多くの子どもたちにインフルエンザ予防接種を受けて



JFAアカデミー福島「キッズプロジェクト」

閣府地震・津波防災アドバイザー、宇都宮大学、近藤伸也准教授による防災講話などを実施し、防災体制の連携強化と防災意識の高揚を図りました。



広野町地震・津波避難訓練

10月22日、築地ヶ丘公園、折木地区集会所及び中央体育館において、震災後9回目となる広野町地震・津波避難訓練を実施しました。今年、内閣府の地震・津波防災訓練と連携して、11月5日「津波防災の日」を前に、地震・津波防災の意識向上と適切な避難行動の定着を目的として、避難訓練前の9月23日と避難訓練後の12月2日にワークショップを開催しました。訓練は全国で10市町、東北地方では本町を含む2町で実施されました。訓練当日は、沿岸部で生活する住民、企業、消防団、婦人消防隊、関係機関など180人のご参加をいただき、広野未来オフィスでの垂直避難訓練、無人航空機ドローンからの映像で被害状況を

10月24日、広野町安心・安全ネットワーク会議を開催し、交通事故防止対策、特殊詐欺防止対策、秋の全国火災予防運動について会員企業に協力を求めました。10月24日、11月28日、広野町安心・安全ネットワーク会議立哨活動を国道6号役場前交差点等で実施し、ドライバーに安全運転への注意喚起を促しました。11月26日、ひろの防災緑地において、広野町消防団によ

いたため、接種費用全額補助の申請受付を開始しました。11月末現在の申請件数は、193件となっています。

10月21日、広野こども園の運動会を開催しました。4年ぶりに保護者の入場を制限することなく開催し、園児たちは保護者の声援を受けながら、鼓笛隊パレードやダンスなどの演技を元気いっぱい披露しました。

11月6日、13日、20日の3回にわたり、児童館においてJFAアカデミー福島による「キッズプロジェクト」が開催されました。本事業は、JFAアカデミー福島のスタッフと生徒が、児童の集う場を

巡回し、外で遊ぶことが減った子どもたちにサッカーを楽しむ時間を提供することで健康な身体づくりに資することを目的としており、今後も継続的に開催されることとなっています。

11月7日、広野こども園において、富岡消防署による防火教室を開催しました。当日は雨天のため、防火パレードは中止となりましたが、園児たちは消防職員とのふれあいの中で、正しい火の取り扱いを学びました。

11月17日、学校法人昌平いわき短期大学附属幼稚園と広野こども園との連携協力協定に基づき、大学講師とゼミ生による園児の運動能力測定を実施しました。測定結果を基に園児たちの運動能力の現状を把握し、今後の運動や遊びについて検討していきます。

12月2日、広野こども園の発表会を開催しました。保護者の皆様には多数ご来園いただき、園児たちは練習してきたダンスや劇を一生懸命に演じました。



広野こども園発表会

環境防災課

9月21日から9月30日にかけて、役場前交差点において、秋の全国交通安全運動の取り組みとして、国道6号を通行するドライバーと通学時の児童生徒に対して、特別職及び管理職による立哨活動を行い、初日と最終日には職員総出で横断幕やプラカードを掲げ交通事故防止啓発活動を実施しました。

9月24日、広野町総合グラウンドにおいて、佐々木忠寿福島県議会議員を始め多くの来賓のご臨席をいただき、令和5年広野町消防団・婦人消防の通常開催となり、飲食物の販売や地元野菜の無料配布など、町内外から訪れた約1,000名の皆さまにお楽しみいただきました。

11月9日、本町と災害時における相互応援協定を結んでおり、本年3月まで職員の派遣をいただいていた自治体に対し、広野産特別栽培米コシヒカリの新米を送付して支援の感謝の意を届けるとともに復興の姿を報告しました。

11月14日、広野町役場前において、ふるさと応援寄付金の納税者に対する返礼品として特別栽培米コシヒカリの発送を執り行い、寄附金を寄せていただいた全国24名の納税者の皆さまに向けて第一便を発送しました。12月5日現在、全国13都道府県から69件の申し込みを受け付けており、来年2月まで、納税者の方に向けて発送します。

11月17日から19日にかけて、福島再生加速化交付金を活用し、地域のイメージ向上を図り、交流人口増加と被災地の風評払拭を目的とした五社山・高倉山PR事業の一環として、首都圏等からの参加者

産業振興課

9月20日、福島県において町内全域より3点を抽出し検査した令和5年産米の放射性物質検査結果が公表され、すべて測定基準値以下となり、広野産米の安心・安全が確保されました。

10月28日、29日の2日間、



ひろの秋祭り「収穫祭」

12月9日、地球温暖化対策の一環として、ごみの減量化・再資源化を目的に家庭で不要になった小型家電や古着の回収を実施しました。